

環境に配慮した ものづくり体験

大垣でマルシェ

環境に配慮したものづくり体験や展示、地産地消の飲食店などが楽しめるイベント「SDGsつながるマルシェ」が、大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫北側駐車場で開催された。

同金庫が主催し、JPCオーチ&コンサルティング、東京海上日動火災保険が共催した。

企業や飲食店が計42ブースを出展。自社が取り組む国連の持続可能な開発目標(SDGs)に向けた活動の紹介、廃材からクリスマスツリーやバッグ、アクセ



SDGsつながるマルシェを楽しむ来場者＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫北側駐車場

サリーなどを作るワークショップがあり、参加者を見て、触れて、味わって、SDGsを体験した。

会場では、燃料に再生するための家庭の使用済み油や、子どもへの寄付に活用する古本の寄贈も受け付け、使用済み油は52・6リットル、本は124冊が集まった。

(武藤直子)